



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

# 機構ニュース

Vol.193 2019 June

## 今月の記事

### Top News

○ 6月1日に組織改編を実施 ..... 1

### 学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

短期大学・高等専門学校卒業生等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

○ 315人から学士の学位授与の申請  
—平成31年度4月期申請分— ..... 2

○ 2,324人に学士の学位を授与  
—平成30年度10月期申請分— ..... 4

○ これまでの学位授与の状況（学士） ..... 6

○ 短期大学及び高等専門学校の専攻科認定状況 ..... 7

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

○ 28人から修士の学位授与の申請  
—大学院修士課程相当の課程修了者— ..... 8

○ 5人から博士の学位授与の申請  
—大学院博士課程相当の課程修了者— ..... 8

○ これまでの学位授与・課程認定の状況 ..... 9

### 質保証連携

国内外の質保証機関等との連携

○ イタリアからCIMEAが来訪、今後の連携を約束 ..... 11

### 機構の窓

○ 会議の開催状況 ..... 12

○ 委員の異動 ..... 14

### 主要行事日程

○ Schedule（6月～8月） ..... 16

# TOP NEWS

## ○ 6月1日に組織改編を実施

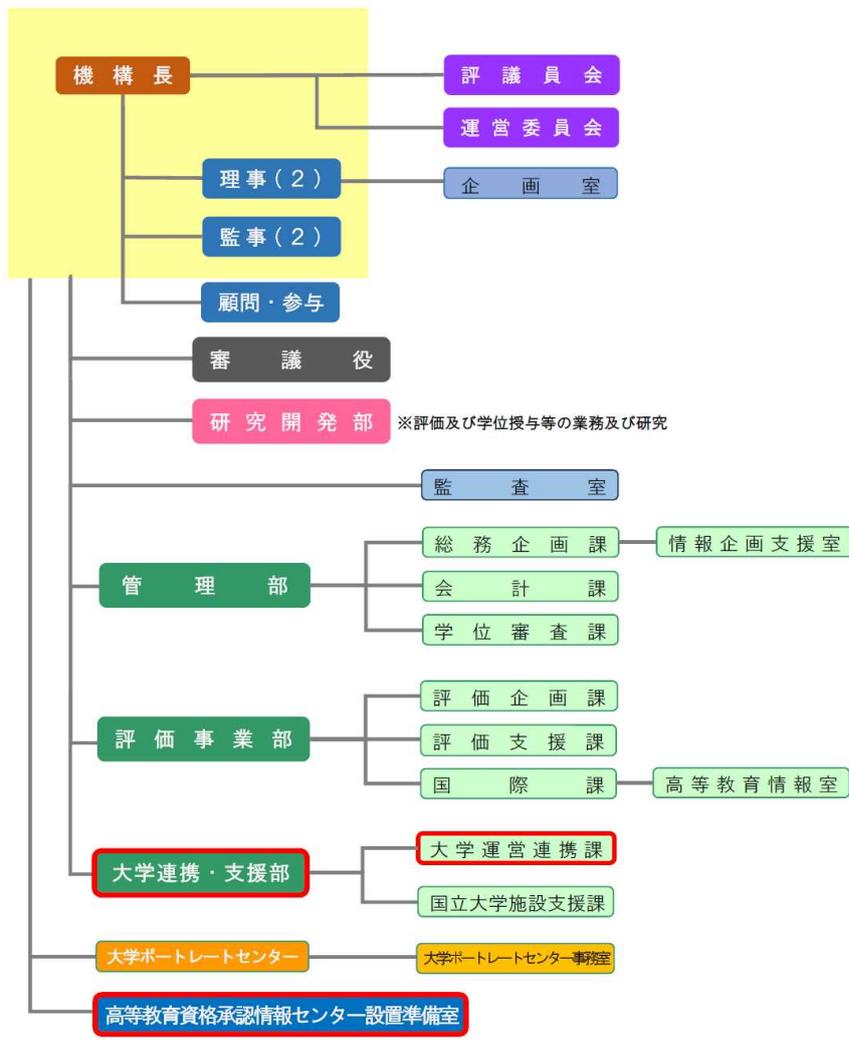
当機構は、令和元年6月1日付で組織改編を行い、新たに「大学連携・支援部」及び「高等教育資格承認情報センター設置準備室」を設置しました。

大学連携・支援部は、従来は管理部に置かれていた国立大学施設支援課と、今年度からスタートした第4期中期目標において新たに追加された、国立大学法人等の運営基盤の強化促進の支援を図るための情報収集・分析等の業務を行う大学運営連携課（新設）から構成されます。

また、大学連携・支援部の設置に伴い国立大学施設支援センターを廃止しました。

高等教育資格承認情報センター設置準備室は、高等教育資格の承認に必要な情報の提供を行う国内情報センター（NIC）の開設に向けて設置したものです。国内情報センターは、ユネスコ「高等教育の資格の承認に関するアジア太平洋地域規約（東京規約）」に規定されるもので、当機構では今年度内の開設を目指しています。

### <改編後の組織図>



## 学位授与事業

### 短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

#### ■短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与

##### ○ 315人から学士の学位授与の申請 ー平成31年度4月期申請分ー

短期大学、高等専門学校卒業者及び専門学校修了者等301人から、18専攻分野34専攻の区分にわたり学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和元年5月24日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修成果・試験の審査を経て、令和元年8月30日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には令和元年9月末までに学士の学位を授与する予定です。

高等専門学校の特例適用専攻科修了見込み者についても、14人から2専攻分野2専攻の区分への特例による学士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和元年5月24日（金）開催の学位審査会において機構長から学位授与の可否について審査の付託があり、学位審査会では、修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を担当する専門委員会の指定が行われました。

各専門委員会における修得単位の審査及び学修総まとめ科目の履修に関する審査を経て、令和元年8月30日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、合格者には令和元年9月末までに学士の学位を授与する予定です。

また、機構では、昨年度から「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 学位取得者表彰規則」に基づいて、当機構で学士の学位を取得した方のうち、生涯学習に努め、特に精励したと認められた方に対して表彰を行っています。今年度の第2回表彰は、平成30年度4月期及び10月期に学士の学位を取得した方から表彰者を決定し、令和元年9月頃に表彰式を実施する予定です。

＜平成31年度4月期学士の学位授与申請者数＞

（基礎資格別）

基礎資格	申請者数（人）
短期大学卒業生	83
高等専門学校卒業生	14 [14]
専門学校修了者	179
高校等専攻科修了者	1
大学中退者	20
飛び級	4
大学卒業生	14
外国資格	0
合計	315 [14]

※ [ ]内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

（見込み申請者の内訳）

区分	申請者数（人）
短期大学専攻科修了見込者	0
高等専門学校専攻科修了見込者	14 [14]
合計	14 [14]

※ [ ]内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

（専攻の区分別）

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数（人）
文学	国語国文学	2
	英語・英米文学	4
	哲学	1
	心理学	2
教育学	教育学	13
社会学	社会学	1
教養	比較文化	1
	科学技術研究	1
社会科学	社会科学	1
法学	法学	3
経済学	経済学	1
理学	数学・情報系	4
	物理学・地学系	2
	生物学系	2
	総合理学	1
薬科学	薬科学	1
看護学	看護学	191
保健衛生学	検査技術科学	5
	臨床工学	8
	放射線技術科学	9
	理学療法学	4
	作業療法学	2
	言語聴覚障害学	11
鍼灸学	鍼灸学	1
口腔保健学	口腔保健衛生学	1
	口腔保健技工学	1
柔道整復学	柔道整復学	2
栄養学	栄養学	11
工学	機械工学	3 [1]
	電気電子工学	2
	情報工学	4
商船学	商船学	13 [13]
家政学	家政学	1
芸術学	美術	5
	演劇	1
合計		315 [14]

※ [ ]内は特例適用専攻科修了見込での申請者数で内数。

○ 2,324 人に学士の学位を授与 —平成 30 年度 10 月期申請分—

平成30年度10月期に学士の学位授与申請のあった短期大学、高等専門学校卒業生及び専門学校修了者等2,412人のうち、2,324人に対し学士の学位を授与しました。

今回の学士の学位授与については、関係各専門委員会で行われた修得単位の審査及び学修成果・試験の審査の結果に基づき、平成31年2月15日（金）開催の学位審査会において審査が行われました。

〈平成 30 年度 10 月期学士の学位授与申請者数及び取得者数〉

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数（人）	取得者数（人）
文 学	国 語 国 文 学	4	3
	英 語 ・ 英 米 文 学	7	3
	歴 史 学	1 [1]	1 [1]
	哲 学	1	1
	心 理 学	1	1
教 育 学	教 育 学	176 [108]	171 [107]
教 養	比 較 文 化	4	2
社 会 科 学	社 会 科 学	2	2
法 学	法 学	1	1
経 済 学	経 済 学	3	2
経 営 学	経 営 学	11 [10]	11 [10]
理 学	数 学 ・ 情 報 系	3	1
	物 理 学 ・ 地 学 系	2	0
	生 物 学 系	1	0
	総 合 理 学	1	0
薬 科 学	薬 科 学	2	2
看 護 学	看 護 学	301 [31]	280 [31]
保 健 衛 生 学	検 査 技 術 科 学	17 [11]	17 [11]
	臨 床 工 学	2	1
	放 射 線 技 術 科 学	12	11
	理 学 療 法 学	24	24
	作 業 療 法 学	5	5
	言 語 聴 覚 障 害 学	23	10
鍼 灸 学	鍼 灸 学	2	1

専攻分野の名称	専攻の区分	申請者数（人）	取得者数（人）
口腔保健学	口腔保健衛生学	65 [34]	65 [34]
	口腔保健技工学	9	9
柔道整復学	柔道整復学	1	1
栄養学	栄養学	55 [33]	44 [33]
工学	機械工学	394 [391]	392 [389]
	電気電子工学	517 [510]	514 [508]
	情報工学	211 [210]	208 [208]
	応用化学	179 [178]	178 [177]
	生物工学	26 [26]	26 [26]
	材料工学	45 [44]	44 [43]
	土木工学	148 [146]	147 [145]
	建築学	66 [66]	65 [65]
	社会システム工学	12 [11]	10 [9]
農学	農学	1	0
家政学	家政学	6	4
芸術学	音楽	31	28
	美術	40 [20]	39 [20]
合計		2,412 [1,830]	2,324 [1,817]

※ [ ]内は特例適用専攻科修了見込での申請者数及び取得者数で内数。

○これまでの学位授与の状況（学士）

<平成4年度～平成30年度>

専攻分野の名称	専攻の区分	取得者数 (人)	専攻分野の名称	専攻の区分	取得者数 (人)
文 学	国 語 国 文 学	219	保 健 衛 生 学	看 護 学	7,232
	英 語 ・ 英 米 文 学	153		検 査 技 術 科 学	1,187
	独 語 ・ 独 文 学	5		臨 床 工 学	117
	仏 語 ・ 仏 文 学	12		放 射 線 技 術 科 学	2,281
	中 国 語 ・ 中 国 文 学	3		理 学 療 法 学	705
	ロシア語・ロシア文学	1		作 業 療 法 学	342
	歴 史 学	99		言 語 聴 覚 障 害 学	49
	哲 学	15		視 能 矯 正 学	3
	心 理 学	64		鍼 灸 学	138
	宗 教 学	46		口 腔 保 健 学	468
教 育 学	教 育 学	3,660	口 腔 保 健 技 工 学	40	
神 学	神 学	24	柔 道 整 復 学	柔 道 整 復 学	5
社 会 学	社 会 学	31	栄 養 学	栄 養 学	2,680
	社 会 福 祉 学	74		工 学	機 械 工 学
教 養	比 較 文 化	28	電 気 電 子 工 学		8,577
	地 域 研 究	126	情 報 工 学		3,019
	国 際 関 係	8	応 用 化 学		3,147
	科 学 技 術 研 究	19	生 物 工 学		496
学 芸	比 較 文 化	6	材 料 工 学		671
	地 域 研 究	18	土 木 工 学		2,587
	国 際 関 係	3	建 築 学		1,330
	科 学 技 術 研 究	24	社 会 シ ス テ ム 工 学		111
社 会 科 学	社 会 科 学	37	芸 術 工 学		芸 術 工 学
法 学	法 学	104	商 船 学	商 船 学	191
政 治 学	政 治 学	26	農 学	農 学	140
経 済 学	経 済 学	75	水 産 学	水 産 学	6
商 学	商 学	74	家 政 学	家 政 学	124
経 営 学	経 営 学	260	芸 術 学	音 楽	1,316
理 学	数 学 ・ 情 報 系	30		美 術	3,590
	物 理 学 ・ 地 学 系	29		演 劇	0
	化 学 系	19	体 育 学	体 育 学	85
	生 物 学 系	36	合 計		53,716
	総 合 理 学	38			
薬 学	薬 学 ( ~ H 2 1 )	2			
薬 科 学	薬 科 学	7			

○短期大学及び高等専門学校の特攻科認定状況

平成31年4月現在

	区 分	平成30年度末時点 既認定専攻科数(a)	平成31年度 新規認定専攻科数(b)	平成31年度認定専攻科総数 (a+b)
短期大学 専攻科	文 学	3 [3]		3 [3]
	教 育 学	24 [21]		24 [21]
	社 会 学	1 [0]		1 [0]
	教 養	3 [2]		3 [2]
	看 護 学 ※	8 [0]		8 [0]
	保 健 衛 生 学 ※	4 [0]		4 [0]
	口 腔 保 健 学	7 [2]		7 [2]
	家 政 学 ・ 栄 養 学	9 [7]		9 [7]
	芸 術 学	11 [9]		11 [9]
	計	46校 70専攻[44]	0校 0専攻[0]	46校 70専攻[44]
高等専門学校 専攻科	経 済 ・ 商 学 ・ 経 営	2 [2]		2 [2]
	工 学 ・ 芸 術 工 学	107 [107]	1 [1]	108 [108]
	商 船 学	5 [5]		5 [5]
	計	56校 114専攻[114]	1校 1専攻[1]	56校 115専攻[115]
合 計	102校 184専攻[158]	1校 1専攻[1]	102校 185専攻[159]	

(注1) ※印の区分については、3年制の短期大学に置かれる1年制の専攻科である。

(注2) [ ] 内は、2年制の専攻科で内数。

(注3) 「計」、「合計」欄の学校数については、実数を記載(同一校において他の専攻科を認定したこと等により単純に累計とならない)。

## 機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与関係

### ■機構認定の教育施設（各省庁大学校）の課程修了者への学位授与

#### ○ 28人から修士の学位授与の申請—大学院修士課程相当の課程修了者—

大学院の修士課程に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の平成31年3月修了者28人から、修士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和元年5月24日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、社会科学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学、水産学が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、令和元年8月30日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、令和元年9月13日（金）に学位記伝達式を行い、合格者には各大学校を通して修士の学位を授与する予定です。

#### ＜修士の学位授与申請者数＞

認定課程名	専攻分野の名称	申請者数(人)
防衛大学校 総合安全保障研究科前期課程	安全保障学	4
水産大学校 水産学研究科	水産学	6
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科前期課程	看護学	2
職業能力開発総合大学校 長期養成課程職業能力開発研究学域	生産工学	16
合計		28

#### ○ 5人から博士の学位授与の申請—大学院博士課程相当の課程修了者—

大学院の博士課程に相当する教育を行う課程として認定されている各省庁大学校の平成31年3月修了者5人から、博士の学位授与の申請がありました。

この申請に係る学位授与の審査は、令和元年5月24日（金）開催の学位審査会において、機構長から学位授与の可否についての審査の付託があり、これを受けて学位審査会では、論文の審査及び試験を担当する専門委員会として、理学、看護学・保健衛生学・鍼灸学、工学・芸術工学が指定されました。

各専門委員会における論文の審査及び口頭試問を経て、令和元年8月30日（金）開催の学位審査会で最終審査が行われ、令和元年9月13日（金）に学位記伝達式を行い、合格者には各大学校を通して博士の学位を授与する予定です。

#### ＜博士の学位授与申請者数＞

認定課程名	専攻分野の名称	申請者数(人)
防衛大学校 理工学研究科後期課程	理学	1
防衛大学校 理工学研究科後期課程	工学	2
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科後期課程	看護学	2
合計		5

## ○ これまでの学位授与・課程認定の状況

令和元年5月1日現在

## 1 大学の学部に対応する教育を行う課程

認定課程名	認定年月日	修業年限	入学定員(人)	取得者数累計(人)	授与する学位(専攻分野の名称)
防衛医科大学校 医学教育部医学科	平成3年8月30日	6年	80	1,814	学士(医学)
防衛大学校本科	平成3年12月18日	4年	480	11,436	学士(理学、工学、人文科学または社会科学)
水産大学校本科	平成3年12月18日	4年	185	5,011	学士(水産学)
海上保安大学校本科	平成3年12月18日	4年	60	1,090	学士(海上保安)
気象大学校大学部	平成3年12月18日	4年	15	378	学士(理学)
職業能力開発総合大学校 長期課程 ※平成28年度末廃止	平成3年12月18日	4年	-	4,930	学士(工学)
国立看護大学校 看護学部看護学科	平成13年3月26日	4年	100	1,440	学士(看護学)
職業能力開発総合大学校 総合課程	平成24年2月13日	4年	80	304	学士(生産技術)
防衛医科大学校 医学教育部看護学科	平成29年2月15日	4年	120	221	学士(看護学)
合 計				26,624	

## 2 大学院の修士課程に対応する教育を行う課程

認定課程名	認定年月日	修業年限	入学定員(人)	取得者数累計(人)	授与する学位(専攻分野の名称)
防衛大学校 理工学研究科前期課程	平成3年12月18日	2年	90	1,637 [48]	修士(理学または工学)
職業能力開発総合大学校 研究課程 ※平成24年度末廃止	平成3年12月18日	2年	-	470 [78]	修士(工学)
水産大学校 水産学研究科	平成6年6月23日	2年	10	233 [30]	修士(水産学)
防衛大学校 総合安全保障研究科前期課程	平成9年3月11日	2年	20	334 [115]	修士(安全保障学)
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科前期課程	平成17年2月10日	2年	15	104 [61]	修士(看護学)
職業能力開発総合大学校 長期養成課程職業能力開発研究学域	平成28年2月12日	2年	20	12 [0]	修士(生産工学)
合 計				2,790 [332]	

[ ]内は修了見込み申請で内数

### 3 大学院の博士課程に相当する教育を行う課程

認 定 課 程 名	認 定 年 月 日	修業 年限	入学定員 (人)	取得者数 累計(人)	授 与 す る 学 位 (専攻分野の名称)
防衛医科大学校 医学教育部医学研究科	平成 3 年 8 月 30 日	4年	30	499 [0]	博士(医学)
防衛大学校 理工学研究科後期課程	平成 13 年 3 月 12 日	3年	20	99 [13]	博士(理学または工学)
防衛大学校 総合安全保障研究科後期課程	平成 21 年 2 月 13 日	3年	7	17 [1]	博士(安全保障学)
国立看護大学校 研究課程部看護学研究科後期課程	平成 27 年 2 月 13 日	3年	3	- -	博士(看護学)
合 計				615 [14]	

[ ]内は修了見込み申請で内数

## 質保証連携

### 国内外の質保証機関等との連携

#### ○ イタリアから CIMEA が来訪、今後の連携を約束

令和元年5月8日（水）から10日（金）の3日間、イタリアのモビリティ・学術同等性情報センター（CIMEA：Centro di Informazione sulla Mobilità e le Equivalenze Accademiche）のランテローセンター長、フィノッキエッティ副センター長ほか、計4名の職員が当機構を訪問しました。この度の来訪は、CIMEA側の提案によるもので、両国の高等教育制度や教育資格に関する情報・知見の交換を目的として行われました。

当機構からは、日本の高等教育制度や当機構の学位等について説明を行いました。CIMEAからは、同センターの事業、ナショナル・インフォメーション・センター（NIC）の組織と運営、資格の評価手法、資格情報のブロックチェーンでの管理についての発表がありました。中でも、取得した学位情報を無償でブロックチェーン上に記録できるCIMEAのサービスである「diplome（ディプロミー）」については、実際の登録画面を用いた実演も行われました。

さらに、イタリアと欧州の高等教育資格の承認に関する動向をテーマに講演会を開催し、ランテローセンター長から、イタリアではMasterと呼ばれる資格と修士の学位は別物であること等、資格名称の理解には各国の教育制度に関する知識が重要であることが強調されました。

CIMEAは1984年の設立以降、イタリア内外の資格を比較・評価する事業を行っており、リスボン承認条約にもとづきイタリア政府が指定するNICでもあります。日本政府も同様のユネスコの地域条約である「高等教育の資格の承認に関するアジア・太平洋地域規約」（通称：東京規約）を締結したことから、現在NICの設立が求められている状況です。

今回の訪問を通じて、高等教育の質保証が外国資格の評価と密接につながっており、CIMEAとの連携が当機構の事業展開に好影響をもたらす可能性が確認されました。最終日には、ランテローセンター長と当機構の長谷川理事との協議の結果、今後さまざまな形で連携していくことで合意し、3日間の日程が終了しました。



CIMEA 訪問団との記念撮影

## 機構の窓

### ○ 会議の開催状況

#### ・学位審査会

第1回 令和元年5月24日（金） 15時00分～16時30分

議事

- 1 学士、修士及び博士の学位取得者数について
- 2 学士、修士及び博士の学位授与の審査の付託について
- 3 認定課程修了者に係る修士及び博士の学位授与の審査の結果について
- 4 令和元年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査について
- 5 令和2年度認定課程に係る教育の実施状況等の審査対象の選定について
- 6 専攻科に係る特例適用認定の審査の付託について
- 7 その他

#### ・法科大学院認証評価委員会

第1回 令和元年5月15日（水）～令和元年5月31日（金）

※書面審議により開催

議事

- 1 評価部会等の編成について

#### ・高等専門学校機関別認証評価委員会

第1回 令和元年5月16日（木） 14時00分～15時30分

議事

- 1 評価部会の編成等について
- 2 自己評価実施要項（令和2年度実施分）等の改訂について
- 3 その他

• 大学機関別認証評価委員会

第1回 令和元年5月17日（金） 10時00分～12時00分

議事

- 1 評価部会の編成等について
- 2 運営小委員会の編成について
- 3 専門委員選考委員会の編成について
- 4 第三者の評価結果等の活用について
- 5 大学機関別認証評価自己評価実施要項の改定等について
- 6 その他

■ 委員の異動

○ 学位審査会審査委員

学位審査会審査委員3人が退任され、新たに3人の方々が就任されました。

・退任（平成31年3月31日辞任）

氏名	退任時の職	在任期間
塚本 幾代	広島国際大学教授	平成29年4月17日～平成31年3月31日
西出 和彦	東京大学教授	平成22年4月1日～平成31年3月31日
柳本 雄次	東京福祉大学教授	平成28年4月18日～平成31年3月31日

・学位審査会審査委員16人

任期は平成30年4月16日～令和2年3月31日

（新任3名の任期は平成31年4月15日～令和2年3月31日）

氏名	現職	氏名	現職
天野 英晴	慶應義塾大学教授	奈良 信雄	大学改革支援・学位授与機構特任教授
◎大 芝 亮	広島市立大学特任教授	野坂 泰司	学習院大学教授
○影 山 和郎	金沢工業大学教授	藤田 静雄	京都大学教授
菊池 和朗	大学改革支援・学位授与機構特任教授	本田 彰子	聖隷クリストファー大学教授
北 詰 昌樹	東京工業大学教授	村上 弦一郎	桐朋学園大学教授
椎原 伸博	実践女子大学教授	山口 周	大学改革支援・学位授与機構特任教授
瀬 沼 花子	玉川大学教授	山下 哲郎	工学院大学教授
中 村 聡	東京工業大学教授	吉川 裕美子	大学改革支援・学位授与機構教授

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

○高等専門学校機関別認証評価委員会委員

高等専門学校機関別認証評価委員会委員のうち1人が再任され、新たに2人が就任されました。

- 高等専門学校機関別認証評価委員会委員20人（任期は、平成30年5月1日～令和2年4月30日）  
（鎌土委員、永澤委員及び光田委員の任期は令和元年5月1日～令和2年4月30日）

氏名	現職	氏名	現職
揚村 洋一郎	東海大学付属大阪仰星高等学校・中等部 校長	寺嶋 一彦	豊橋技術科学大学理事・副学長
荒金 善裕	前 東京都立産業技術高等専門学校長	永澤 茂	長岡技術科学大学教授
有信 睦弘	東京大学大学執行役・副学長	○長島 重夫	元 株式会社日立製作所教育企画部シニアコンサルタント
大島 まり	東京大学教授	中野 裕美	豊橋技術科学大学副学長
鎌土 重晴	長岡技術科学大学理事・副学長	新田 保次	前 鈴鹿工業高等専門学校長
萱島 信子	国際協力機構上級審議役	廣 畠 康裕	大学改革支援・学位授与機構特任教授
菊池 和朗	大学改革支援・学位授与機構特任教授	光田 好孝	東京大学教授
京谷 美代子	前 株式会社FUJITSUユニバーシティエグゼクティブプランナ	◎武藤 睦治	長岡技術科学大学名誉教授
黒田 孝春	大学改革支援・学位授与機構客員教授	村田 圭治	近畿大学工業高等専門学校長
田中英 一	東海職業能力開発大学学校長	森野 数博	前 呉工業高等専門学校長

■は新任（◎:委員長、○:副委員長）

## 主要行事日程

### ○ Schedule

6月

日	行事名	担当課
10日	<a href="#">大学機関別認証評価等に関する説明会</a>	評価支援課
10日	<a href="#">令和2年度に実施する大学機関別認証評価等に関する自己評価担当者等に対する研修会</a>	評価支援課
14日	大学機関別認証評価に係る評価担当者に対する研修（評価部会）	評価支援課
16日	平成31年度4月期学位授与試験（小論文）（東京地区、大阪地区）	学位審査課
16日	平成31年度4月期学位授与試験（面接）（東京地区）	学位審査課
17日	大学機関別認証評価に係る評価担当者に対する研修（内部質保証専門部会）	評価支援課
25日	高等専門学校機関別認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課
27日	法科大学院認証評価に係る評価担当者に対する研修	評価支援課

7月

日	行事名	担当課
25日	令和元年度大学質保証フォーラム	国際課
31日	<a href="#">法科大学院認証評価委員会（第2回）</a>	評価支援課

8月

日	行事名	担当課
30日	<a href="#">学位審査会（令和元年度第2回）</a>	学位審査課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education